

石川浩君の由利高原鉄道珍道中



由利高原鉄道YR-1500形

9月のある日にずっと前からの希望だった由利高原鉄道で働いている人たちに会いに行きました。

羽後本荘駅から矢島駅まで電車に乗り初めての一人旅です。

由利高原鉄道の職員との会話や食堂・近くのお店の人たちに親切にさせていただいて大満足しています。

お土産までいただき またすぐに お礼に行きたいと張り切っています。

由利高原鉄道はとってもかわいくてスピードもゆるやかでぼくにとってはいやしの列車とっていいほどでした。しかも沿線が山ぎわで40分はあとという間でした。少しJRとちがったみかがありました。採用はないと言われましたが鉄道の仕事にみかがありました。夢を信じてがんばっていきたいと思います。



昭和63年に誕生した車両である。由利高原鉄道(羽後本荘～矢島間)にてワンマン運転も行なっている。1～3両編成で運転されている。